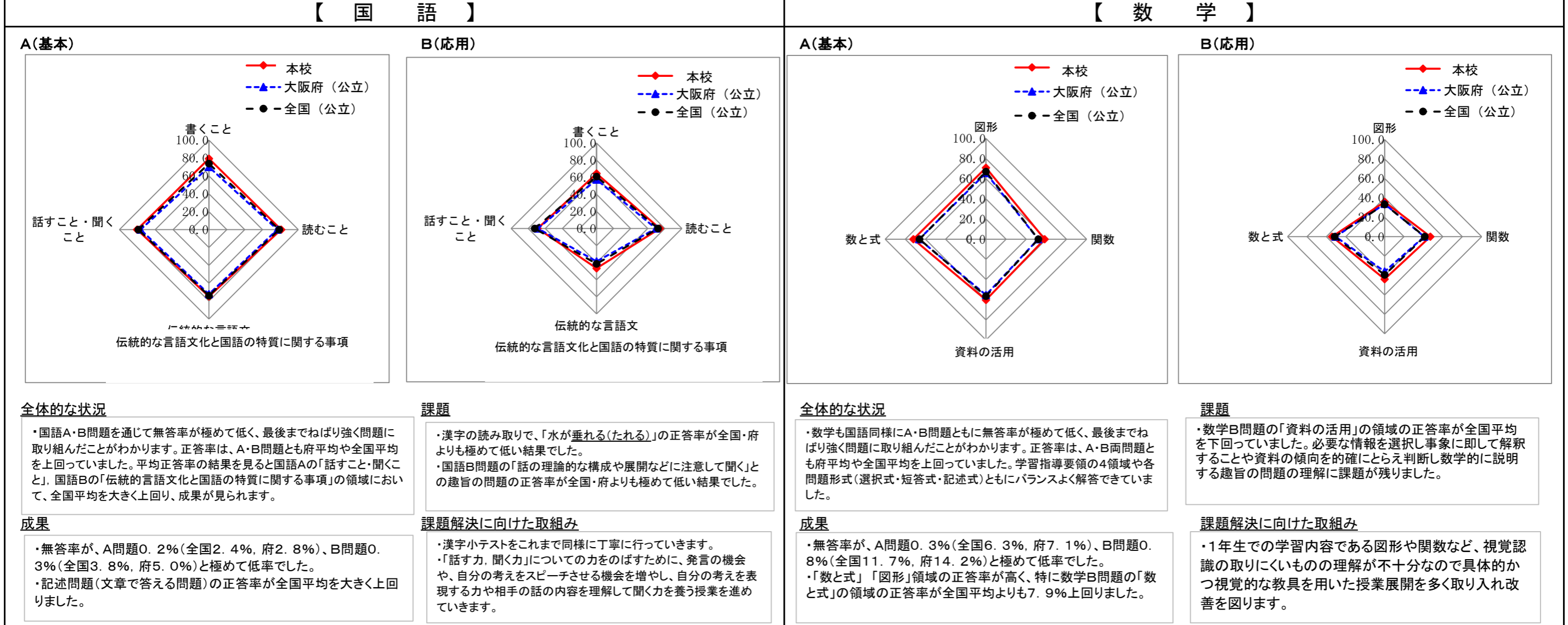


# 富田林市立金剛中学校 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいりますので、保護者のみなさんのご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

## 【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## 【学習状況調査】

| 状況が良好な主な項目                    | 本校   | 府    | 全国   |
|-------------------------------|------|------|------|
| 自分には、よいところがある                 | 81.6 | 65.6 | 70.7 |
| 家で学校の授業の予習をしていますか             | 39.2 | 26.7 | 31.7 |
| 授業で学んだことをほかの学習や普段の生活にいかしていますか | 75.4 | 65.3 | 70.9 |

### 全体的な状況

全国平均と比べても、意欲的に学校での授業や家庭学習に取り組んでいる生徒の割合が高く、困難な問題にもあきらめずに自分で工夫をし、粘り強く取り組んでいます。

### 成果

学校の授業以外に家庭での学習時間の確保ができている生徒が多く、授業の予習や復習を行っている生徒の割合が高いです。基本的な生活習慣も確立されており、学校生活も規則正しく過ごせています。

| 課題を残した主な項目                          | 本校   | 府    | 全国   |
|-------------------------------------|------|------|------|
| 1日3時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする        | 33.2 | 29.9 | 25.3 |
| 1日2時間以上携帯やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする | 36.3 | 39.6 | 32.2 |
| 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか               | 49.7 | 48.7 | 51.5 |

### 課題

テレビやDVDの視聴時間や携帯電話・スマートフォンを扱う時間がとても長い生徒が多いです。4月の段階の調査ですが、課題をもって学習に取り組んでいる生徒と自覚や目標が定まらず学習時間の確保ができていない生徒の二極化が顕著にあらわれています。

### 課題解決に向けた取組み

家庭学習ノートをさらに充実させていきます。学校では、ペアやグループでの話し合い活動を授業で多く取り入れ、ホワイトボードを活用し自分の考えを表現できるようにするなど、自ら考え、知識を活用し、創造性を高められるようにしていきます。また、3年生を対象に10月以降は放課後学習会を実施していきます。

## ○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

今回の学力状況調査の結果を見ると、日頃の学校での授業やご家庭での学習に対する取り組みの成果があらわれました。特に学習状況調査の全国平均との比較では金剛中学校が全体として進めている「家庭学習の手引」を参考に、多くの生徒が予習や復習の大切さを理解して家庭学習に取り組んでいることが大きな成果につながっていると感じます。また、最後まであきらめずに解答しようとする姿勢が、無答率の低さと正答率の高さにつながっていると思います。今後も以下に示すような取り組みを学校全体で進め、さらなる学力の定着に向け取り組んでいきます。

◎「目標(ねらい)」、「ふりかえり」、「まとめ」を各自にしっかりと意識させた授業を行います。 ◎各授業で大切にしたいこと「金剛中学校授業スタンダード」の一層の取り組みを進め確立していきます。 ◎主体的、対話的に学び、深い理解につなぐことができるようにペア学習やグループ学習を多く取り入れていきます。 ◎ホワイトボードを活用した授業などを通して様々な考えを共有させます。 ◎テスト前勉強会や放課後学習会(三年生)を実施していきます。 ◎自主勉強用ノートの活用など家庭学習のさらなる充実に取り組んでいきます。